

休憩施設の調査を行います

■観光・休憩所適地調査
【商工費】(新規) 320万円
(商工観光部 観光振興課)

平成26年度に京都縦貫自動車道や舞鶴若狭自動車道が全線開通し、また平成28年度には本市初となる大宮森本ICが開設されるなど、交通インフラが飛躍的に向上します。本市への流入車両が増加し、人・モノの交流や経済の活性化が期待される中、来訪者の滞在をより快適なものとするため、休憩施設設置に適した場所などについて調査を行います。



映画を活用した観光まちづくりを推進します

■フィルムウィークの開催
【商工費】(拡充) 99万円
(商工観光部 観光振興課)

京都国際学生映画祭等と連携し、お寺や古民家等の田舎ならではのロケーションで期間限定シアターをオープンする「京丹後まるごとシアター」(仮称)や映像制作に関するワークショップ等を開催し、映画に親しむ機会を創出することで市内を周遊する観光のきっかけづくりを行います。



京丹後フィルムウィーク2013の様子

フィルムウィーク▶お寺や古民家など京丹後市ならではの会場を映画館に見立て映画を上映する京丹後市発の観光イベント

スポーツによる健康で活力のあるまちづくり

■京たごスポーツの発行
【商工費】589万円
(商工観光部 スポーツ観光・交流課)

「人のチカラ・スポーツのチカラでまちづくり」を基本理念に掲げ、スポーツの分野で頑張っている子どもたちをはじめ、市民や本市出身者といった「人」に焦点を当てたスポーツ広報紙「京たごスポーツ」を隔月で発行(6回)し、スポーツのまちづくりを推進します。



京たごスポーツ

「海フェスタ京都」を通じて京丹後市を発信

■「海フェスタ京都実行委員会」負担金
【商工費】(新規) 100万円
(商工観光部 観光振興課)

平成26年7月19日から8月3日まで、舞鶴市を中心とした「海フェスタ京都」が開催されます。

京丹後市では、ジオパークをキーワードに「海の京都」京丹後市を全国に発信するため、国の関係機関と京都府、5市2町等によって構成される海フェスタ京都実行委員会への負担金を支出するなど開催を支援します。



海フェスタ京都シンボルマーク

海フェスタ▶「海の恩恵に感謝し、海洋国日本の繁栄を願う日」という「海の日」本来の意義を再認識するための行事として、昭和61年から毎年全国の主な港湾都市で開催しています。

市制10周年記念国際親善プレ大会

■第14回 2014歴史街道
丹後100kmウルトラマラソン大会の開催支援
【商工費】500万円
(商工観光部 スポーツ観光・交流課)

歴史街道丹後100kmウルトラマラソン(国際親善プレ大会)の開催を支援し、四季型・滞在型観光を推進します。

○開催日時(予定)
平成26年9月13日(土)～14日(日)



ウルトラマラソン100kmのスタートの様子

■スポーツボランティア活動の推進
【商工費】(新規) 88万円
(商工観光部 スポーツ観光・交流課)

スポーツボランティアを登録する仕組みをつくとともに、研修を行うことにより、市民全体でスポーツを支える担い手づくりとスポーツへの愛着を高めることを目指します。



ウルトラマラソンでのボランティア活動の様子

「山陰海岸ジオパーク」を観光推進に生かします

■「山陰海岸ジオパーク」を活かした観光の推進
【商工費】2,099万円
(商工観光部 観光振興課)

「山陰海岸ジオパーク」を観光推進に生かすため、宝探しやジオトレッキングなどのイベント・ガイド講座等の開催、教育・学習活動の支援、拠点・サイン整備を推進するとともに、本年実施される世界ジオパークの再審査や平成27年のアジア太平洋ジオパークネットワーク山陰海岸シンポジウムの開催に向け、京丹後市内外のジオパーク関係機関との連携を深めます。



立岩(丹後町)

■丹後半島ラリー2014の開催支援
【商工費】118万円
(商工観光部 スポーツ観光・交流課)

本市内で行われる全日本ラリー選手権の開催を支援することにより、全国へ本市をPRするとともに、観光客誘致を図ります。

○開催日時(予定)
平成26年8月29日(金)～31日(日)



丹後半島ラリースイス村ギャラリーステージの様子

■温泉施設への木材チップボイラー導入
【商工費】(新規) 2億4,074万円
(農林水産環境部 農林整備課)

未利用間伐材及び利用価値が低く放置されている天然林を資源として活用する木材流通・加工施設の整備に合わせ、積極的な市内産木材の利用を図り、市内森林整備を促進するため、公共温泉施設の「弥栄あしぎぬ温泉」及び「宇川温泉よし野の里」に木質チップボイラーを導入します。



弥栄あしぎぬ温泉



宇川温泉 よし野の里

京丹後市の応援の輪を全国に広げます

■京丹後ふるさと応援団の運営
【総務費】129万円
(企画総務部 企画政策課)

京丹後市の魅力を全国に発信し、交流人口の増加と本市への移住の促進を図るため、「京丹後ふるさと応援団」を組織し、地域の発展に向けた応援活動をしていただける人々の輪を全国に広げています。また、団員の中から「京丹後ふるさと応援大使」を委嘱し、本市をPRする特製名刺を配付するなど全国各地で京丹後市の魅力発信を行っていただくほか、団員同士の連携・交流を深めるため、「団員交流会」を開催します。

- 入団資格 京丹後市以外に在住のかた
- 入 団 費 年1,000円
- 特 典 会報誌などの送付、市内協賛店での優待特典など
- 団 員 数 307人(平成26年3月末現在)



平成26年2月に開催した「ふるさと応援団交流会」

再生可能エネルギーを活用したまちづくり

■再生可能エネルギー利活用まちづくり調査
【衛生費】(新規) 60万円
(農林水産環境部 環境バイオマス推進課)

地域にある再生可能エネルギーを活用したまちづくりを進めるため、公募によって選定した地区等を対象に、当該地域におけるエネルギーの賦存状況、活用事業の課題並びに実効可能性を調査・検証し、地域のニーズに即した再生可能エネルギーの利活用方策をまとめます。



再生可能エネルギーをまちづくりに活用する先進事例「道の駅ウッドイー京北」(京都市右京区)

賦存▶天然資源について、理論的に算出された量が存在すること

II 京丹後市の特色や魅力を活かした取り組みの推進

II 京丹後市の特色や魅力を活かした取り組みの推進